

# Living together for our future

## FUJITSU GENERAL Way

FUJITSU GENERAL Way は、私たち富士通ゼネラルグループが持続的に発展する上で、土台となる基本指針であり、当社が目指すべき姿と、お客さまと社会のために果たすべき使命、存在価値を表すものです。

また、富士通ゼネラルグループで働くすべての人が行動する上で、判断の拠り所となる羅針盤です。

私たちは、企業理念に掲げたミッションを達成するための行動を実践し、事業を通じて、快適・健康・安心・安全な社会の実現、その先にあるいのちを見つめ、世界中の人々と共に未来を切り拓いてまいります。

## FUJITSU GENERAL Way の体系

FUJITSU GENERAL Way は企業理念、行動規範の二層から成り立っています。



### Our Mission

#### - 共に未来を生きる -

私たちは、革新的なモノづくりを通じて、世界中のお客さまと社会のために、安らぎに満ちた、今日にない明日を届けます。

### Our Philosophy

#### 自発的に取り組みます

私たちは、自己成長のための努力を惜みせず、たゆまぬ創意工夫と先見力で、自ら新しい事に挑戦します。

#### 人を思い活かします

私たちは人を思いやり、異なる文化と多様性を活かし、協調と対話を通じて、人の可能性を最大化します。

#### 誠実さを大切にします

私たちは、誠実さを旨とし、常に高い倫理観を持って人として正しい道を歩みます。

## 目次

企業理念・編集方針・目次	1
富士通ゼネラルグループ概要	3
社長メッセージ	5
<b>価値創造のストーリー</b>	<b>7-38</b>
価値創造のプロセス -イメージ図-	9
価値創造のプロセス -施策とKPI-	11
トップインタビュー	13
財務総括	25
特集	29
人権に対する取り組み	37
<b>成長戦略</b>	<b>39-50</b>
事業の全体像	41
空調機事業	43
情報通信・電子デバイス事業	47
<b>サステナブル経営の実現</b>	<b>51-80</b>
担当役員メッセージ	53
重要課題（マテリアリティ）	54
重点取り組みテーマ	55
気候変動への対応	57
環境に対する取り組み （TCFDに基づく開示）	58
社員に対する取り組み	65
パートナーシップ	66
社外取締役メッセージ	67
ガバナンス	70
<b>データ集</b>	<b>81-92</b>
財務・ESGハイライト	83
財務データ	85
<b>会社概要</b>	<b>93-98</b>
年間トピックス	95
基礎情報	97

## 将来に関する予測・予想・計画について

本報告書には、富士通ゼネラルグループの過去と現在の事実だけでなく、将来に関する予測・予想・計画なども記載しています。これらの予測・予想・計画は、記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定ないし判断であり、諸与件の変化によって将来の事業活動の結果や事象が異なるものになる可能性があります。

読者の皆さまには以上をご承知いただきたくお願いいたします。



## 編集方針

本報告書は、ステークホルダーの皆さまに対して、富士通ゼネラルグループの中長期的な価値創造について、より一層のご理解をいただくことを目的に、企業価値を高めるための経営戦略、業績をはじめとする財務情報や、サステナブル経営への取り組みを中心とした非財務情報を総合的に報告するために作成したものです。より詳細な情報に関しては、当社Webサイトをご覧ください。

■ 報告対象期間：2021年度（2021年4月1日～2022年3月31日）ただし、一部はそれ以外の期間の内容も含まれます。

■ 報告対象組織：株式会社富士通ゼネラルおよびその連結子会社・持分法適用会社

■ 発行：2022年9月（次回予定：2023年9月）

※ 本報告書における表示単位未満の端数については、金額および所有株式数は切り捨て（ただし、億円単位で記載の金額に限り四捨五入）、各種比率は四捨五入にて表示しています。

※ 本報告書の一部または全部を許可なく転載することを禁じます。

● 「ノクリア」は株式会社富士通ゼネラルの商標登録です。

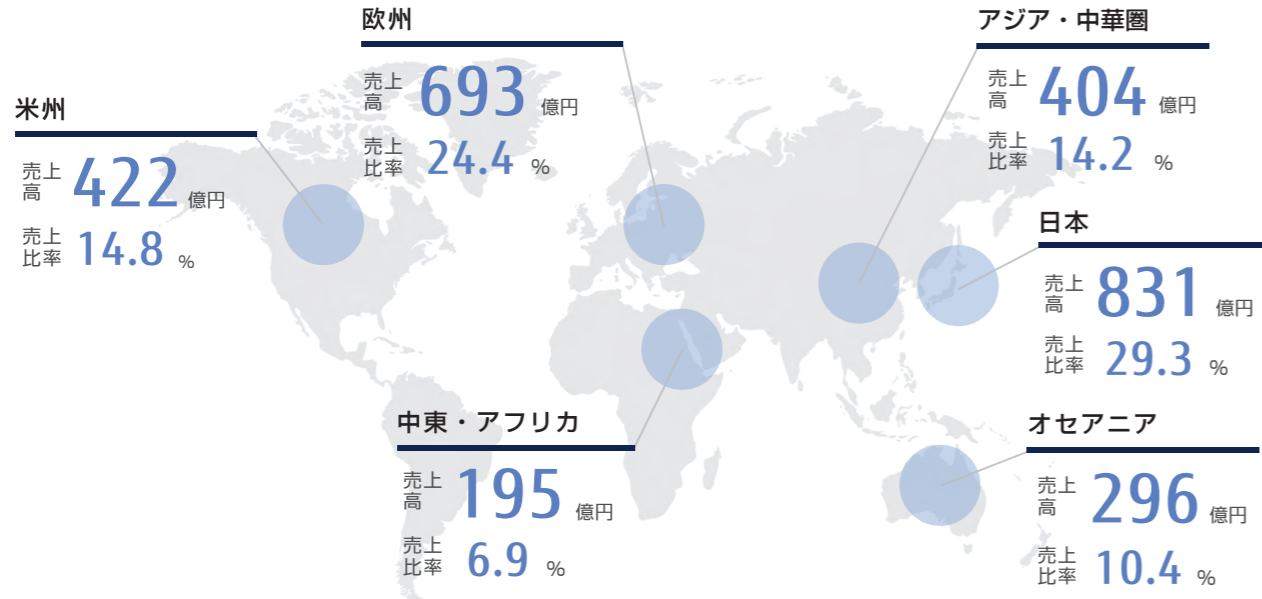
● 「AIRSTAGE」は株式会社富士通ゼネラルの商標登録です。

# 富士通ゼネラルグループ概要

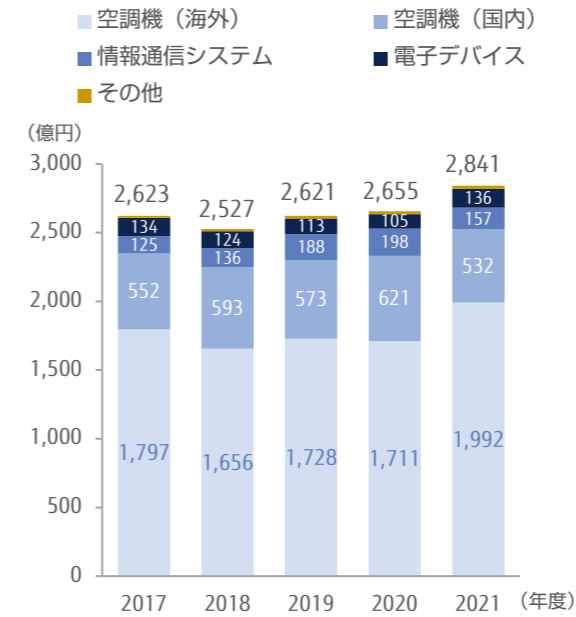
## 快適・安心・安全な社会の実現へ

富士通ゼネラルグループは、空調機事業、情報通信・電子デバイス事業を通じて、世界 100 カ国以上の人々に、心地よい空間、安心・安全を提供しています。

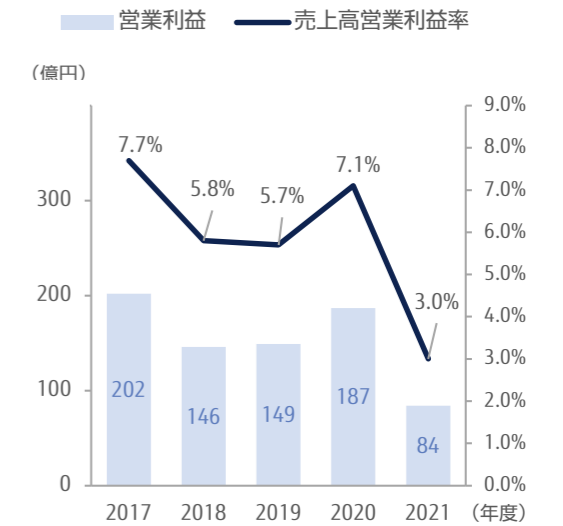
※数値は 2021 年度実績



## 売上高



## 営業利益 / 営業利益率



## 富士通ゼネラルのあゆみ

1936 株式会社 八欧商店  
 1942 八欧電機株式会社  
 1947 八欧無線電機株式会社  
 1948 八欧無線株式会社  
 1955 八欧電機株式会社  
 1966 株式会社 ゼネラル  
 1985 株式会社 富士通ゼネラル

創立

富士通株式会社の資本参加

- 1941** 通信機器・通信システム事業開始
- 1945** 電子部品事業開始
- 1960** 空調機事業開始
  - 1971年 クウェート向けに輸出開始: ウインド型エアコン
  - 1971年 簡易取付カセット型クーラー (ミンミン) 販売開始
- 1970** 消防救急指令装置開発
- 1992** ラムダ型熱交換採用
- 2001** 市町村防災行政デジタル無線システム開発
- 2003** フィルター自動清掃機能開発
- 2006** コーナー/フロント用車載カメラ開発
- 2007** ビル用空調機販売開始
- 2009** ヒートポンプ式温水暖房システム販売開始
- 2009** CMOS センサ搭載長広角車載
- 2017** 業界最小サイズの消防救急デジタル携帯型無線機開発
- 2017** 熱交換器を加熱除菌する機能開発
- 2018** HDR アナログハイビジョンカメラ開発

**空調機事業**  
 "いのちに変わる、空気をつくる"  
 いつも"人"を包みこんでいる、"空気"という存在。富士通ゼネラルは、快適でクリーンな"空気"を生み出す空調機器でその時代、その地域に最適な本当の"こころよさ"を実現します。

セグメント別売上高構成比率 **88.8%**  
 (セグメント別営業利益構成比率) **61.0%**

**情報通信システム事業**  
 "安心・安全の未来を共につくる"  
 創業期から続く通信機事業。富士通ゼネラルの情報通信システム事業は、これからも私たちの暮らす社会の未来に向けて、安心安全をお届けします。

セグメント別売上高構成比率 **10.3%**  
 (セグメント別営業利益構成比率) **25.7%**

**電子デバイス事業**  
 "世界に誇る高度な技術・提案力"  
 緻密で精度の高い品質と信頼性をお届けします。

環境経営

健康経営

サステナブル経営

- 2016年 B I G 活動開始
- 2016年 アカスリ活動開始
- 2018年 新たな企業理念「FUJITSU GENERAL Way」の設定
- 2020年 F I C 活動開始
- 2021年 サステナブル・プロダクト認定制度開始

## 社長メッセージ



Innovation  
&  
Globalization  
今日にない明日を、世界の人に

## Living together for our future

### - 共に未来を生きる -

私たちは、革新的なモノづくりを通じて、世界中のお客さまと社会のために、安らぎに満ちた、今日にない明日を届けます。

株式会社富士通ゼネラル  
代表取締役社長 経営執行役社長

角藤 雄郎

### サステナブル経営は「未来との契約」の履行

富士通ゼネラルグループが営む空調機、情報通信・電子デバイスの各事業は、持続可能な社会実現にとって必要不可欠であり、サステナビリティなしに当社グループのビジネスを語ることはできません。当社グループの企業理念に掲げる「Our Mission - 共に未来を生きる -」は、持続可能な開発目標（SDGs）の理念である「誰一人取り残さない」と同義語であるとわれわれは考えています。これらを踏まえ、当社グループでは、2021年3月に「サステナブル経営の基本方針」を策定し、Planet（地球との共存）、Society（社会への貢献）、Our People（社員との共感）を重点テーマとした取り組みを進めています。

先行きが不透明で環境変化が激しい現代において、継続的な先行投資による持続可能な成長を達成するには、一段上の利益創出、充実した財務体質の確立が不可欠です。そして何よりも、「サステナブル経営」実現のためには、規模の追求が必要であると感じています。そうでなければ、私たちが企業理念で目指している「世界中のお客さまと社会に」広く良い影響を与えることはできません。私たちが企業理念に沿った正しい経営を貫くためにも、これまで以上のパワーが必要であり、手をこまねいて小さなスケールに留まれば、やがて他社に凌駕され、淘汰されると考えています。そう言った意味において、当社グループでは2022年度を最終年度とする現中期計画で、売上高3,700億円、営業利益170億円を掲げており、その達成に拘っていききたいと思います。

当社グループにとっての「サステナブル経営」とは、今を生きる子どもたち、そしてそのまた子どもたちや子孫が夢や希望をもって明るく元気に過ごせる持続可能な未来を提供する契約であり、現代を生きるわれわれの責務であると考えています。

### 富士通ゼネラルグループの強みを活かした「革新的なモノづくり」と「自発型人材」により社会課題解決へ貢献

富士通ゼネラルグループには、現在までに培ってきた世界に通用する「モノづくり」の精神と技術力、そして海外や国内市場における「グローバル」で強固な販売力があると確信しています。当社グループの強みを活かし伸ばす方向性は、従来の「モノづくり」だけでなく、先進的技術を融合させて「革新的なモノづくり」に果敢に挑み、イノベーションを創出する必要性があると考えています。

イノベーションとは、一握りの天才が一瞬のひらめきによって生み出されるものではなく、時代時代の社会的課題とその解決方法を考え抜き、多くの人の知見や協力のもと、数えきれない失敗にも諦めず、地道な作業を積み重ねた上で、誕生するものであり、決して容易な挑戦ではありません。しかしながら、社員一人一人がしっかりと正しい目を見開き、身近にイノベーションの種が点在している事に気付くことで、思いもよらない発想が生まれ、イノベーションを創出できると考えています。

イノベーション創出のために、当社グループでは開発部門だけでなく、営業やコーポレート部門をはじめとする全社員がイノベーションの種を見つけ提案できる制度（FIC）や、自己研鑽のための時間として月所定労働時間の最大10%を活用できる10%ルールなどを導入しています。さまざまな環境整備により、当社グループには今まさに多くの新規事業やイノベーションの可能性、そしてその種が芽吹こうとしています。さらに、社員が自ら成長に向けて努力する、一生懸命、真摯に生き生きと課題解決の仕事に挑むやる気に満ちた「自発型人材」の育成に積極的に取り組んでいきます。

さらに、「ブランディング活動強化」「真のグローバル企業への脱皮」などの新たな活動や施策により「企業活動の変革」を促進させ、企業として利益ある成長と「サステナブル経営」の加速により、当社グループは地球環境や社会へのさらなる貢献を目指して成長していきます。